

御前山ビオトープ周辺の植物等

日当たりのよい丘陵や山地の谷筋などに生える落葉高木です。葉は長い楕円形で先はとがります。葉脈は20～24対あります。4月ごろ、葉の展開と同時に花を開きます。名前は熊四手で、熊は樹の様子がたくさんしいからで、四手は神前に供える玉ぐしやしめ縄につける四手に果穂の様子を見立てたものという説があります。



(カバノキ科 クマシデ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

秋田県大館市からのプレゼント

友好都市協定を結んでいる秋田県大館市教育委員会から、秋田杉伝統工芸品である「ペン入れ」が交流の深い大宮小学校と大宮中学校の令和2年度卒業生に贈られました。

それぞれの校章が焼き印でつけられたオリジナルのペン入れになっています。

本市からは、西の内紙で漉いた卒業証書を記念品として大館市内の小中学校4校に贈りました。



◀木のぬくもりを感じるペン入れ



▲大切にしていきます

竹林が整備されています

毎年2月の寒い時期に、辰ノ口橋の下では、久慈岡共有竹林組合の皆さんの手によって、久慈川流域の荒廃した竹林の整備が行われています。

久慈岡地区 高安敏明区長を中心に、竹の伐採や遊歩道作りなど、地域の方々の力によって、少しずつ生まれ変わっています。



▲取材日に活動していた久慈岡共有竹林組合の皆さん



常陸大宮市の人口

(4月1日現在・推定常住者)

総人口 38,742人 世帯数 16,009世帯
(男 19,153人 女 19,589人)

広報 常陸大宮 4月 第199号

発行日 令和3年4月26日

発行/常陸大宮市 編集/企画政策課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

